

(様式第1号)

令和8年3月31日

陸前高田市議会議長 及 川 修 一 様

会 派 名 創 生 会
代表者職氏名 代表 福 田 利 喜



政 務 活 動 概 要 報 告 書

政務活動費に関する取扱要領第6条第2項の規定により、令和7年度政務活動の状況について報告いたします。

記

1 研修事業

○総務省消防庁・国土交通省研修及び意見交換

場 所 東京都千代田区霞が関2丁目1-3
中央合同庁舎2号館 総務省消防庁、国土交通省

参加者 福田利喜、鵜浦昌也、菅野秀一郎

期 日 令和7年5月14日

概 要

◇総務省消防庁

対応 国民保護室室長 三浦 宏氏

消防団の今後の在り方等について国の考え方を聞くとともに、本市消防団の現状を話し意見交換をしてきました。

消防庁の方々には国会開会中とのことから、忙しい中を対応していただきました。三浦国民保護室長から、現在国が進めている消防の在り方、それに伴う消防団の今後についての方針を説明いただきました。消防団は地域によってその役割が大きく異なること。取り巻く環境の違いから地域から求められるものも違うことから様々な検討がされていることが説明されました。特にも団員不足、なり手不足対策が今後の大きな課題であることが話されたところです。そのために、消防操法競技会の在り方なども検討しているとのこと。

私たちからは、陸前高田市をはじめ地方では消防団の役割が多岐にわたっていることや、都市部と違って常備消防だけで火災や災害対応できないこと。消防操法が持つ基本的な消防団員としての訓練の在り方や、団員報酬、団の活動費の在り方などを率直に意見交換してきたところです。創生会は現役消防団員と分団長経験者がおり、具体的で現実的な意見交換がなされました。

◇国土交通省

対応 都市局課長補佐 舟 波 昭 一 氏

国の道路行政について説明を受けたところです。舟波前陸前高田市副市長は



通省都市局に勤務されており、主に都市政策について担当されているそうですが、私たちが最も興味のある道路整備について説明をいただいたところです。国では、直轄で整備を行う大きな道路の整備をはじめ、地方の道路整備にかかる様々な方向性を立案し、具体的な予算につなげており、生活道路の整備にかかる市道整備に使えるものをはじめ、特に問題が生じ早期に整備しなければならないもの、例えば子どもの通学路で痛ましい事故がたびたび起きたことから子どもの通学路整備を優先的に行うような事業など広範囲にわたる事業について説明を受けたところです。

私たちからは、都市の環境整備として区画整理事業で整備した市街地について管理に使える諸施策など具体的事例をあげ意見交換したところです。

さらに、国道343号笹の田地区の早期整備について要望も行ってきたところです。

所 感

総務省及び国土交通省を訪問してさらに、今後も様々なつながりを生かして陸前高田市のまちづくりに生かしていきたいと感じたところです。

また、人のネットワークの大切さも感じたところです。

○事業名 日本自治創造学会第17回研究大会参加

場 所 東京都千代田区明治大学アカデミーコモン

参加者 福田利喜、鵜浦昌也、菅野秀一郎

期 日 令和7年5月15日～16日

概 要：日本自治創造学会主催の表記研究大会に参加
研修概要

5月15日（第1日目）

◇地方自治における政治の復権

名古屋大学名誉教授 後 房雄

◇日本の統治構造

官僚内閣制は議員内閣制になったのか

政策研究大学院大学教授 飯尾 潤

◇JICAにおける地方創成2.0・地域活性化事業への挑戦

地域連携による様々な創生事業の実践と活用方法について

独立行政法人国際協力機構理事長特別補佐 井倉 義伸

◇地方自治のあり方を問う

地方自治の危機

東京大学大学院法学政治学研究科教授 金井 利之

◇地域間交流会

わが自治体の新たな挑戦をPRする

参加した全国の地方議員と交流

5月16日(第2日目)

◇AI時代の双方向コミュニケーション選挙戦略

都知事選の経験から学ぶ

AIエンジニア・起業家・SF作家 安野 貴博

◇ネット選挙に対応する

公職選挙法の改正とその行方

日本大学法学部准教授 安野 修右

◇領域を超えない民主主義

地方政治における競争と民意

神戸大学大学院法学研究科教授 砂原 庸介

各講演とも時代に即した演題で興味を惹かれるものばかりであった。特に東京大学の金井先生の地方自治の危機は去年の地方自治法の改正についてであり、分権社会からの後退をひどく危惧されていた。

また、安野貴博氏の講演は泡沫候補とまで言われた東京都知事選で3番目の得票となったことについてAIを活用した選挙戦を自ら分析されたもの話であり大変興味をそそられたところです。

自分の町にだけ閉じこもってはいけないということを改めて感じた研修会となりました。

2 広報事業

(1) 事業名 会派報「創生会」第11号発行事業

事業の内容

令和7年4月から令和8年3月までの会派の活動状況の報告について広く市民に広報周知すべく、会派報「創生会」第11号を作成し配布を行った。

作成仕様

A版カラー4ページ

作成部数

5500部

配布方法

新聞折込、及び議員個々が、手渡しにより市民へ配布

印刷委託先

有限会社第一印刷

新聞折込委託先

合同会社実来遠藤新聞店 岩手日報紙に3,960部